

若鷹のごと 翔りゆけ



雄志中学校だより 令和7年4月号

雄志中 HP

合言葉は「ゆ・う・し」 ～なりたい自分をつくっていく～

校長 黒田 陽子

38 名の入学生を迎え、全校 136 名で、新年度をスタートしました。入学式では、令和 7 年度の目指す生徒像を次のように話をしましたので、ご紹介します。

雄志中学校は「**知性を高め、豊かな心を持ち、たくましく実践する生徒**」が教育目標です。そして長年キャリア教育を中核とした教育課程を実践しています。「キャリア教育」とは、生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲や態度、能力を育てる教育と定義されています。言い換えると学校で学んだことを活かし、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を模索し、実現していくことを目指していきます。今年度は雄志の頭文字を使って目指す生徒像を具体的にしました。

ゆ：夢や希望を育てる生徒

う：Well-being を高める心と体づくりに取り組む生徒

し：社会につながる学びを深める生徒

＜ゆ：夢や希望を育てる生徒＞

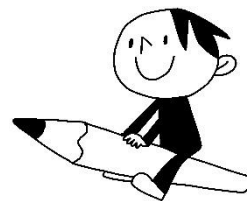
キャリア教育の視点を活動の目標として位置付けるだけでなく、振り返りの場面では、学んだことを実際の場面で、どのように活かしていくのかという点を入れて、経験や体験したことを積み重ね、夢や希望をふくらませていきます。

＜う：Well-being を高める心と体づくりに取り組む生徒＞

Well-being とは、直訳すると「良い状態」、「満足できる状態」という意味です。自分で健やかな体づくりに取り組んだり、様々な人とのかかわりを通じて、差別や偏見を許さない心を育てたり、多様な価値観に触れ、判断する力を身に付けていきます。

＜し：社会につながる学びを深める生徒＞

学ぶことの意義や目的を明確にし、学んだことの価値を実感できる授業を職員と生徒が一体となって行います。学校で学んだことが社会とどのように関係しているのか、つながりを意識した学びを深めていきます。



保護者、地域の皆様から、今年度も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。